

横須賀市健康安全科学センターにおける急性呼吸器感染症(ARI)検査結果

健康安全科学センターでは令和7年4月(第15週)から急性呼吸器感染症(ARI)のスクリーニング検査を開始しました。

急性呼吸器感染症(ARI)とはウイルスや細菌などが原因で、鼻・のど・気管・肺などに起こる感染症の総称です。

当センターで実施した検査結果は表1、図1、2のとおりです。

表1 令和7年4月(第15週)～12月(第52週)の解析検査結果

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	15～17週	18～22週	23～26週	27～31週	32～35週	36～39週	40～44週	45～48週	49～52週	
検体数	23	19	9	13	5	9	13	7	8	106
陰性検体数	11	3	2	4	2	2	5	3	1	33
陽性率(%)	52.2	84.2	77.8	69.2	60.0	77.8	61.5	57.1	87.5	68.9
インフルエンザウイルスA型	2	0	0	1	0	1	1	3	4	12
インフルエンザウイルスB型	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
SARS-CoV-2	0	1	4	5	2	5	3	0	1	21
RSウイルスA型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルスB型	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3
アデノウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス1型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス2型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス3型	1	2	2	0	0	0	0	0	0	5
パラインフルエンザウイルス4型	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
ライノウイルス	6	7※	1	3	0	0	3	1	1	15
エンテロウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3
※ライノウイルス/エンテロウイルス同定不能3件を含む										

図1 月ごとの各ウイルス検出割合

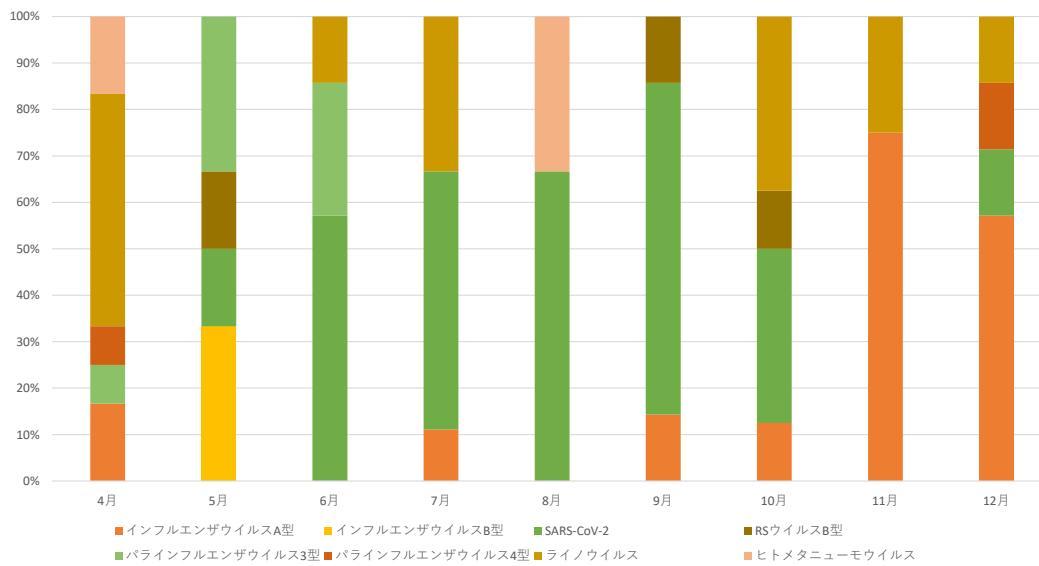


図2 令和7年4～12月の各ウイルス検出割合

